

受講して半年ぐらい経ったとき 街中の英語がスッと耳に入ってきた!

会社で外国人と電話する際
堂々とした姿勢で話す自信を得る

森さん (30代・金融)



大学時代は外国語学部に在籍。卒業後は大手金融機関に就職し、中国への長期駐在も経験した。

学習期間

11 か月目 (2017年6月~)

英語が日常生活の一部になった実感

電車に乗ったり街を歩いたりすると、外国人向けに英語の案内アナウンスを聞いたことがあると思います。トライズで英語を学ぶ前は、そのアナウンスを気に止めることは全くなかったのですが、受講して4か月か5か月ぐらい経過したとき自然に耳に入ってきて、しっかり理解できていることに気づいたんです。このとき、自分と英語の距離がグッと近づいているという実感をられました。その付近で受けたVersantのスコアも40を超えていたのでなんとなく上達はしているんだらうなとは思いましたが、生活の中で実感できたことは、数字の評価よりも最高にうれしかったですね。

登場人物への関心が高まった!

映画で海外の作品を観賞するときのポイントが少し変わったことも、英語が楽しめている実感のひとつかもしれません。トライズに通う前は、英語のセリフを聞きながらストーリーを追い、作品が面白かったとか、イマイチだったとかと感想を持つだけでした。しかし、英語が耳に入ってくる実感を得られた後に洋画を見たとき、俳優さんのセリフの言い回しだったり、ジョークを話すときのタイミングだったり、物語以上に登場人物のキャラクター性に興味を持てるようになったんです。

トライズで得た貴重な経験

“1年で英語が話せます”

この自信に身を委ねようと決意

仕事の海外駐在で中国へ行き、2年間ほど生活していました。その際、中国人の家庭教師に中国語を習っていたんです。家庭教師の中には、日本語が得意ではない人もいましたので、英語で説明されることもしばしばありました。学生時代から英語は学んでいたのですが、なんとなく理解はできていたのですが、しっかり英語でも話が理解できるようにならなければいけないと思ったんです。そして中国から日本へ戻ってくる時期も決まり、新たなスタートという意味で、どこかで英語を勉強しようと思ったんです。

たくさんスクールの中から「トライズ」を選んだのは、「1年1000時間の勉強で英語が話せます」と言った強いコピーをホームページで見たことです。いろんな英会話スクールの広告やホームページをチェックしましたが、「話せるようになる」ときちゃんと謳われていたのは、トライズだけ。そこに、このスクールの自信を感じて、ここなら身を委ねて勉強できると思いました。

褒めてくれるだけでなく

真剣に怒ってくれるコンサルタント

トライズで勉強を続けるにあたり欠かせないものが、コンサルタントの存在。私を担当してくれた方は、とても親しみやすく、授業が終わって一息ついているときに友だちのように会話もしてくださいました。それに、勉強の成果が出たときは、「森さん、すごく頑張っていますね、スコアも良くなっていますよ」といったように褒めてくれるんです。最初は褒められて少し恥ずかしさもありましたが、頑張りを認めてもらっている感覚もあるので、モチベーションを保てる要因になったと思います。また、親身になって怒ってくれるところもありがたかったです。

仕事が忙しく、1日3時間という勉強時間が取れないときもありました。受講して半年ぐらい経った時期だったので、少しは大丈夫だろうと思っていたのですが、「このままだと、これまでの努力がムダになりますよ」と真剣に言われたことも……。そのときは、これだけ親身になってもらっているのにと、反省したことを覚えています。

パソコンを操作しながら

堂々と電話で英語を話す自分がいた

会社で英語を使って誰かと話すという機会は多くなく、取引先の外国人から電話がかかってきたときに会話をする程度だったんです。そんなとき受講前の私は、同僚に自分の英語を聞かれないという思いが強く、身を屈めながら受話器の送話口を両手で覆いコソコソと話をしていたんです。それだけ自分の英語力に自信が持てませんでした。しかし、トライズで勉強を始めてから半年以上が経ったとき、取引先の外国人の方と電話する場面があったんです。そのときの私は、受話器を左手で持ち、右手でパソコンのマウスを操作しながら余裕もった感じで話をしていました。

意識をしてやったわけではないのですが、自然とその形になっていたんです。それ以降、周りも僕が英語を話せるんだという認識になり、英語の書類でわからないことがあると、質問を受けるようになりました。英語での会話もスムーズになっている感覚もありましたので、英語に対する壁がなくなっているなど自信も湧いてきましたね。

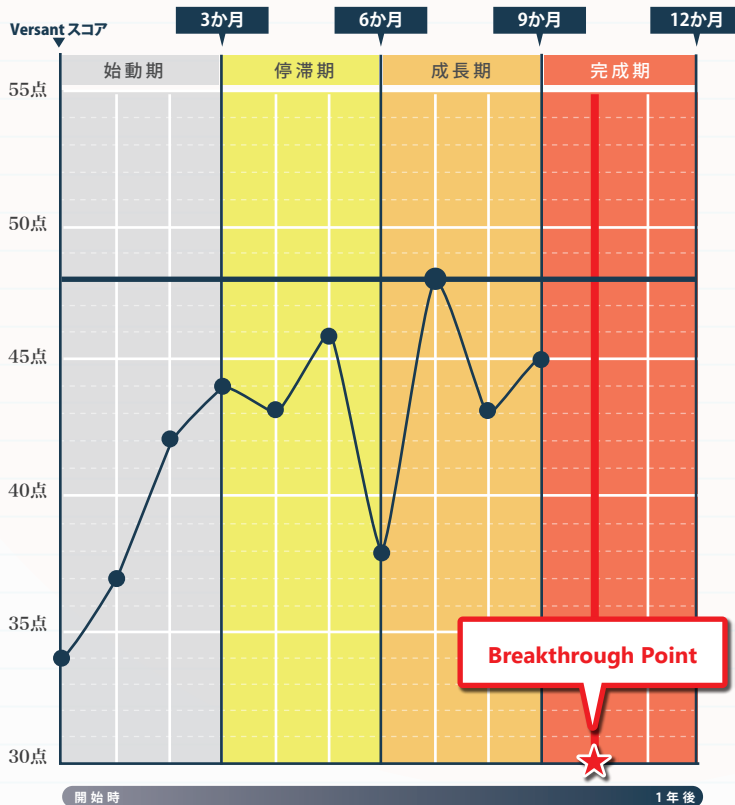
テクニカルな英語ではなく コミュニケーションができる英語を

大学は外国語学部の卒業ですので、英語の勉強は昔から嫌いではありませんでした。TOEICも800点を超えスコアも出ていましたので、周囲からみれば英語が話せると思われていたのかもしれませんが。しかし、街で外国人に道を聞かれたときに、英語が全く出てこなかったという経験をたくさんしていました。TOEICの数値からみる周囲の期待と、全く英語を話せていない自分のギャップがあり、知らないうちに英語に対するコンプレックスが生まれていたのかもしれません。中国で英語の重要性を感じたこともトライズに通うひとつのきっかけですが、一番は、英語へのコンプレックスを解消するんだという強い気持ちがあったからだと思っています。

悩みや苦勞を共有できるからこそ コンサルタントの存在は大きい

“1年で話せるようになる”というコピーに惹かれましたが、実際に始めると、時間が取れなかったり、Versantが伸び悩んだり、いろんな壁にぶち当たります。そんなとき、コンサルタントの存在は本当に貴重。トライズでコンサルタントをされている人は、私たちと同じ経験をしているんです。だからこそ生徒の悩みをきちんと理解して、対策を伝えてくれるので説得力が違う。ここまで入り込んでくれるコンサルタントはなかなかいないと思います。

Versantスコア推移 34点 → 48点



離れて暮らしている母親が 私の影響を受けて地域の英語集会へ

私が英語を勉強し始めたことで、母親が地域の英語集会に通うようになったんです。英語とはかけ離れた生活をしている母親ですが、たまに「この前、英語の先生に褒められたのよ」といった内容のメールを、英語を交えて送ってくるようになったんです。最初、こっちは真剣に勉強しているのにと思いましたが、私をきっかけに、家族が英語に興味を持ってくれたのはうれしかったです。離れて暮らしていて、以前は、元気?ぐらいの会話しかなかったので、新たなコミュニケーションツールができたのもよかったですね。

トライズでの1年間、成功の秘訣

始動期

最初はやるぞという気持ちがあるので、必死に勉強していた記憶があります。しかし、仕事から帰宅後すぐに横になってしまうことが多かったので、家についてもすぐにネクタイを外さず英語の勉強時間を作ったと思います。これは今でも続けていることですが、どんな場所でも英語が聞けるよう、イヤホン必ず持ち歩くようになりました。

停滞期・成長期

7か月、8か月を迎えると、勉強の方法も確立され、コンサルタントとのプログレスチェックのやり方もわかってきます。そうすると、勉強時間が足りていなくても対策ができるようになります。しかし、その期間はスコアも伸びず、達成感も得られませんでした。そんなときも、コンサルタントさんが怒ってくれたので、気を引き締められました。

完成期

今はとにかく、英語を話す聞くことに全く抵抗はありませんし、楽しくてしかたがありません。もちろんまだまだ勉強しなければいけませんが、ゴールに定めた英語で会議を仕切るという能力は身についたかと思っています。今後は、英語できちんと口論できるようになればと思います。ゆくゆくは、海外で働きたいという気持ちも芽生えています。

